

カワウの捕食魚種と漁業被害金額

福島県内水面水産試験場 調査部
平成15年度事業報告書

1 部門名

水産業－内水面(防疫環境)－内水面漁業－その他魚種(内水面)
分類コード 19-09-22650000

2 担当

鈴木 信・廣瀬 充

3 要旨

平成9年度以降、本県に飛来、異常繁殖した魚食性水鳥のカワウについて、内水面漁業への影響を調査した結果、以下の知見を得た。

- (1) カワウは学術目的の調査捕獲によって得られた試料で阿武隈川水系では41羽、阿賀川水系では22羽であり、その胃内容物を精査した。
- (2) カワウの捕食魚種は、阿武隈川水系がオイカワ、ウグイ、フナ類が上位3種で合計10魚種を確認した。阿賀川水系はウグイ、アユ、フナ類が上位3種で合計9魚種を確認した。
- (3) 増殖対象種の捕食重量組成は、阿武隈川水系ではコイ、フナ類、ウグイ3魚種で全体の70.5%、阿賀川水系ではウグイ、アユ、フナ類3魚種で全体の99.6%を占めた。
- (4) 2002年のカワウによる魚類捕食量は、阿武隈川水系では61.8tで、この内、43.6tが増殖対象種であり、その漁業被害金額は23,500千円であった。阿賀川水系での魚類捕食量は30.4tで、この内、29.1tが増殖対象種であり、その漁業被害金額は48,600千円であった。
- (5) それぞれの漁業被害金額は両水系別の増殖経費の8割以上に相当する深刻なものである。

4 その他の資料等

なし